

2019年9月期(第3四半期)

決算説明資料

株式会社リアルワールド
東証マザーズ 3691



2019年8月14日



01 エグゼクティブ・サマリー 3



02 FY2019第3四半期決算概要 11



03 今後の取り組み 14



04 Appendix 18

01 エグゼクティブ・サマリー



Executive Summary

お陰様でリアルワールドは7月29日をもって14周年を迎えることができました。
これもひとえに皆様のご愛顧の賜物と厚く御礼申し上げます。

2014年の上場以降、サービスを開発・改善し、経営の多角化を行うことで企業成長に努めてまいりました。
しかし、事業が拡大していく中で、各事業の環境変化への適応が遅れ、利益構造として非常に厳しい状況に立たされました。

今回14周年を迎えるにあたり、リアルワールドが取り組むべきことは何か向き合い、新しい時代の新しい稼ぎ方を推進するビジョン「稼ぎ方革命」を掲げました。
ビジョンの実現に向け、3月には本社移転を実施し販管費を大幅削減。また慎重に検討を重ねた上で、「稼ぎ方革命」を実現するため事業の選択と集中を行い、身の丈に相応しい経営体制とすることといたしました。3月にはマークアイ売却を行い財務強化を実現、8月末までを目標にノーザンライツを売却する方針となっております。

3Qは事業と人材への積極投資を行うべく、上半期から継続している徹底した販管費削減を推し進め、クラウドソーシングを活用した動画事業(カチコ)・フィンテック事業(リアルペイ)に積極的に投資いたしました。その結果、次世代通信規格5Gに向けた動画需要を先行しておさえることができ、高単価の動画受注が増え、またリアルペイでは外部からの報酬流入額が1.8倍に成長しました。

現行4Qでは来期以降の黒字化・飛躍的成長に向けた総仕上げとして、さらなる販管費の圧縮、注力事業への積極投資を継続しております。

「ネットからリアルへ」

時代が激動する中、ネットを通じて新たな価値を社会に提供する。

この15年目は、リアルワールドの新たな社会的意義を打ち出すスタートの年とし、株主の皆様へ還元すべく、社員一同、全身全霊取り組んで参ります。

引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

株式会社リアルワールド
代表取締役社長 菊池誠晃

・カチっとムービー！をリリース(2019年5月)



・RealPay報酬支払先としてPayPalを追加(2019年6月)



・RealPay報酬支払先としてLINE Payを追加(2019年7月)



・カチコ、vivito社とのジョイントベンチャー設立(2019年8月予定)

2019年1-2Q

2018年10月～2019年3月

販管費圧縮と財務強化

マークアイ売却による財務強化(現預金確保)
7.2億円増 ※2Q実施

FY2019販管費削減アクション
4億円分のコスト削減プラン推進
※通期換算

クラウド動画事業(カチコ)への投資
1.3億円投資
※2019年上半期

2019年3Q

2019年4月～2019年6月

事業実態の見直し

クラウド動画事業(カチコ)への投資
8,000万円投資

BPO(ノーザンライツ)業績悪化
▼2,000万円

広告メディア(リアルX) 粗利率悪化(一時的)
▼10%低下

2019年4Q

2019年7月～2019年9月

再建に向けた総仕上げ

クラウド動画事業(カチコ)の立ち上げ加速
① ジョイントベンチャー設立※

継続したコスト削減
**② グループ全体での人員最適化
本部コストの一層の削減**

「稼ぎ方革命」実現のための選択と集中(8月末目標)
③ ノーザンライツ売却

※実行に際しての影響については現在精査中となります

①クラウド動画事業立ち上げ加速化のためのJV設立

クラウド動画事業(カチコ)ではSaaSモデルによる継続的取引が中心になります。
今後、SaaS取引先数を加速的に増やすことを目的に、スポット制作を主体とするジョイントベンチャーを
出資先であるvivito社と設立いたします。設立により多くの取引先と接点を増やし、vivito社のノウハウを活用した
高品質・高粗利での動画提供を実現します。



動画制作SaaS/OEM

- ・クラウド会員による動画制作
- ・大量動画制作の仕組み
- ・セールス&マーケティング

動画プラットフォーム

- ・クリエイティブ&プロデュース
- ・クライアント/受託実績
- ・クリエイターネットワーク

ジョイントベンチャー

スポット動画制作事業

セールス部門(カチコ)・クリエイティブ部門
(vivito)を統合、競争力強化

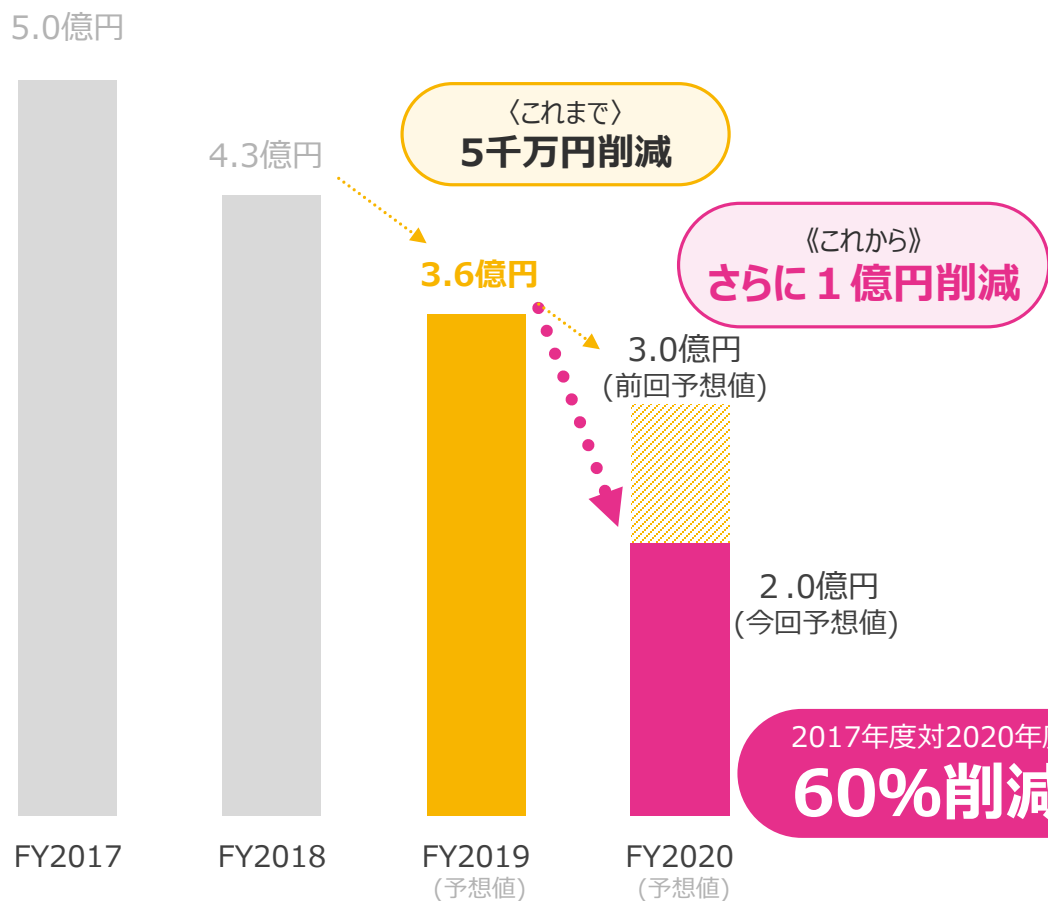
映像受託事業の収益最大化

クライアント基盤の強化

②経営効率の向上（固定販管費削減）

本部コスト

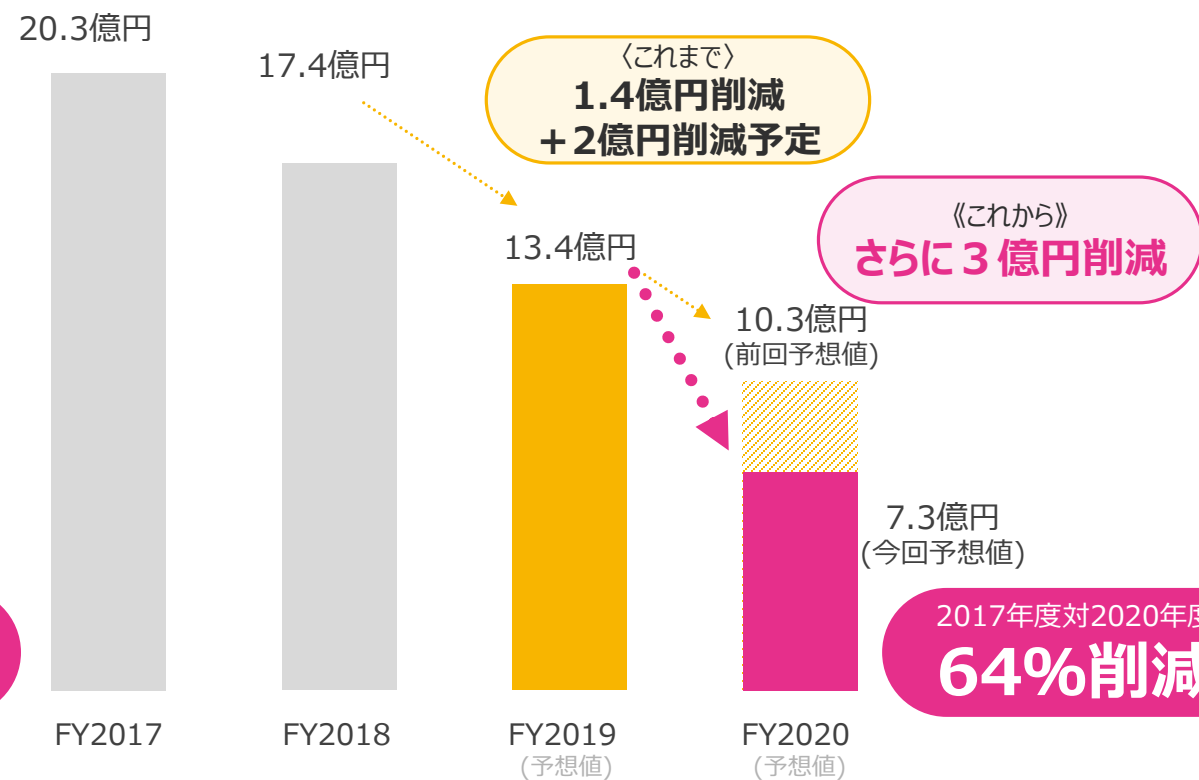
*賃料は含まない



全体販管費（FY2017-FY2020）

POINT

全体的に販管費を大幅削減し、
既存事業の再構築と
新規事業への積極投資を実施



③ノーザンライツ株式会社を売却予定

ノーザンライツ株式会社の概要



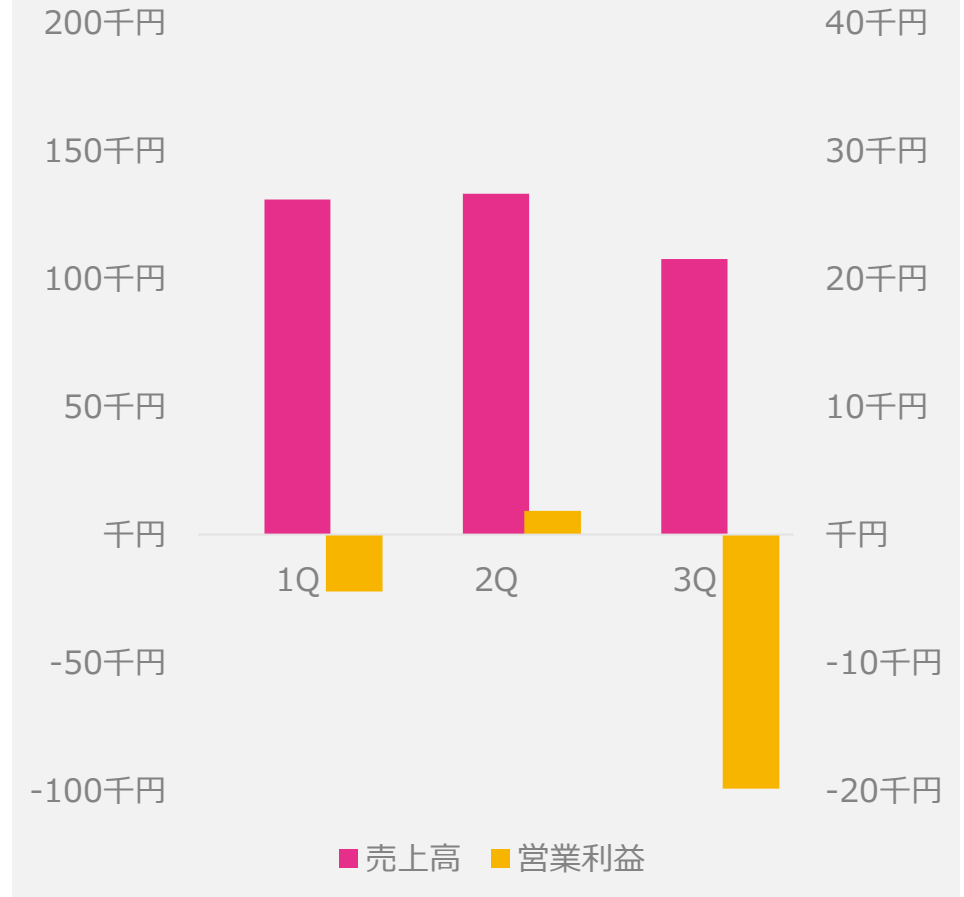
- 会社名：ノーザンライツ株式会社
- 代表取締役：田中 健悦
- 拠点：東京都渋谷区・青森県八戸市
- 事業内容：インターネットBPO事業
- 従業員数：約110名(アルバイト含)

2019年8月末までを目標に当社が保有する全株式を売却する方針

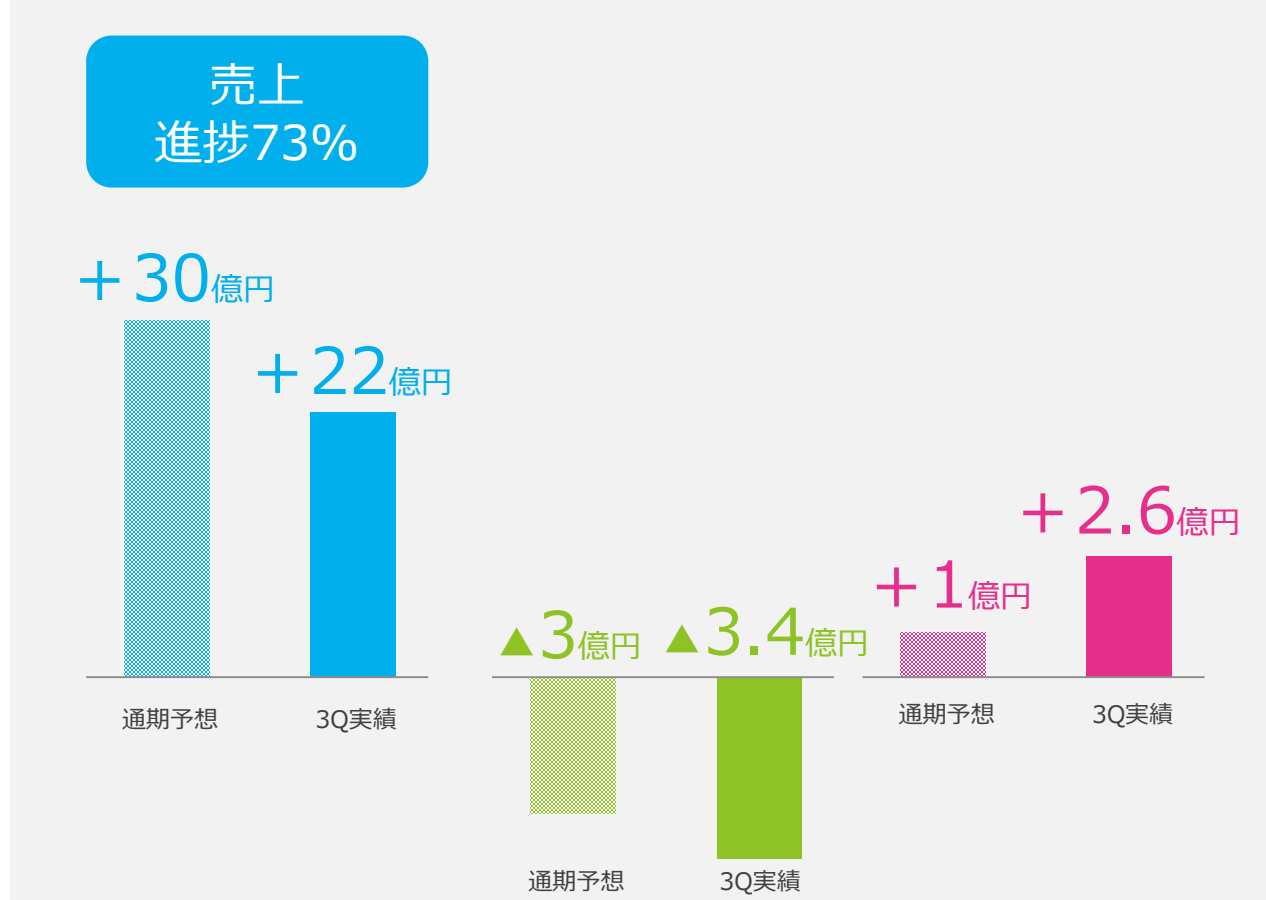
■ 売却要因

- ①身の丈に応じた経営体制への見直し。
- ②「稼ぎ方革命」を新たな経営指針とする中で、クラウドソーシング等のリソースそのものではなく、リソースを活用した商品・サービス提供に転換、得意領域のデジタルを活かしたサービス強化に努めるため。

ノーザンライツ業績



業績予想比



※通期予想：2018年10月～2019年9月

2019年9月期第3四半期 P/Lサマリー

売上高	:	2,238百万円
営業利益	:	▲ 338百万円
経常利益	:	▲ 339百万円
当期純利益	:	260百万円

02 FY2019 3Q決算概要

 Financial Result

通期連結損益計算書 (P/L)

単位：百万円	2019年9月期3Q累計 (2018年10月～2019年6月)	2018年9月期3Q累計 (2017年10月～2018年6月)	前年同期比
売上高	2,238	3,394	65%
売上総利益	810	1,120	72%
(売上総利益率)	36%	33%	+3pt
販売管理費	1,149	1,294	89%
営業利益	▲338	▲173	－%
経常利益	▲339	▲116	－%
親会社株主に帰属する 当期純利益	260	▲204	－%

①マークアイ売却に伴う売上・販管費・利益の縮小 ②注力事業への積極投資による販管費増

通期連結貸借対照表 (B/S)

単位：百万円	2019年9月期 (2019年6月末)	2018年9月期 (2018年9月末)	前期末比
流動資産	2,131	2,333	91%
うち現金および預金	1,628	1,306	124%
固定資産	1,027	1,474	69%
総資産	3,159	3,807	82%
流動負債	1,273	1,843	69%
うちポイント引当金	338	324	104%
固定負債	235	421	55%
純資産	1,650	1,542	107%
負債及び純資産	3,159	3,807	82%

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等をFY2019期首から適用しており、繰延税金資産は固定資産に表示しております。

①借入返済等による流動負債の減少 ②マークアイ売却による現金・純資産の増加

03 今後の取り組み

 Future Measures

稼ぎ方革命

在宅ワークの導入や、副業の解禁など、時間や場所にとらわれない働き方が確立されつつある現代。

しかし、「稼ぎ方」という点では、これまでの延長線上の稼ぎ方に従事する人が多く、新しい稼ぎ方により継続的に収入を得ることができている人はごく一部である。

我々はテクノロジーの力とマーケットに沿った事業を展開することで、根本的な稼ぎ方の改革を実現したい。

少額所得(副収入)を求める1,000万人の会員

Technology
テクノロジー

×

Growth Business
成長市場

テクノロジーを活用して「新たな稼ぎ方」を提供

社内リソース不要で丸投げできる動画メーカー **カチっとムービー!**

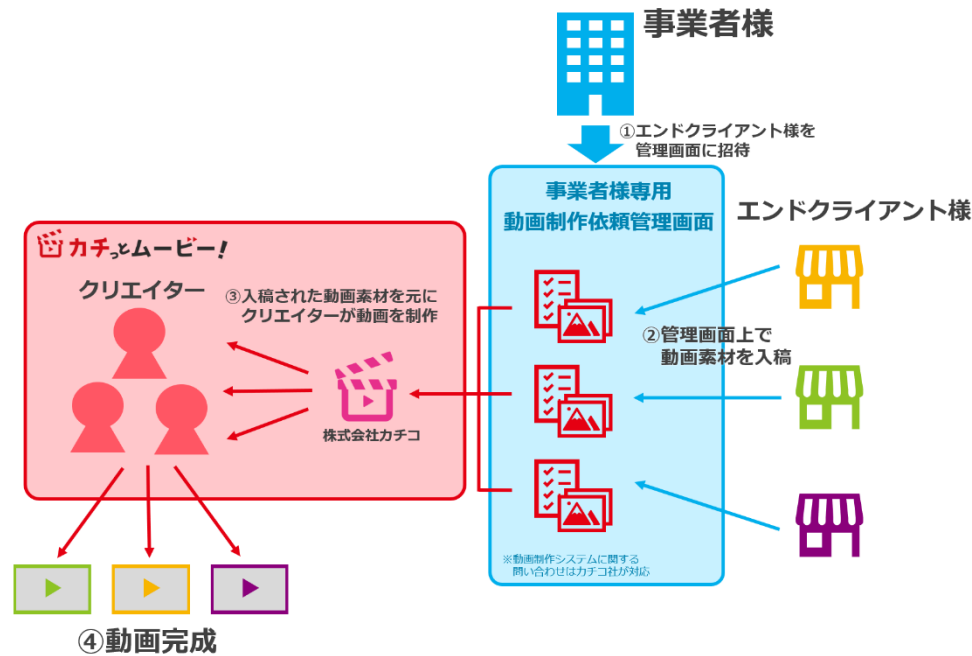
新たな取り組み

カチっとムービー!の
「プラットフォーム・システム提供」
を展開中

料金

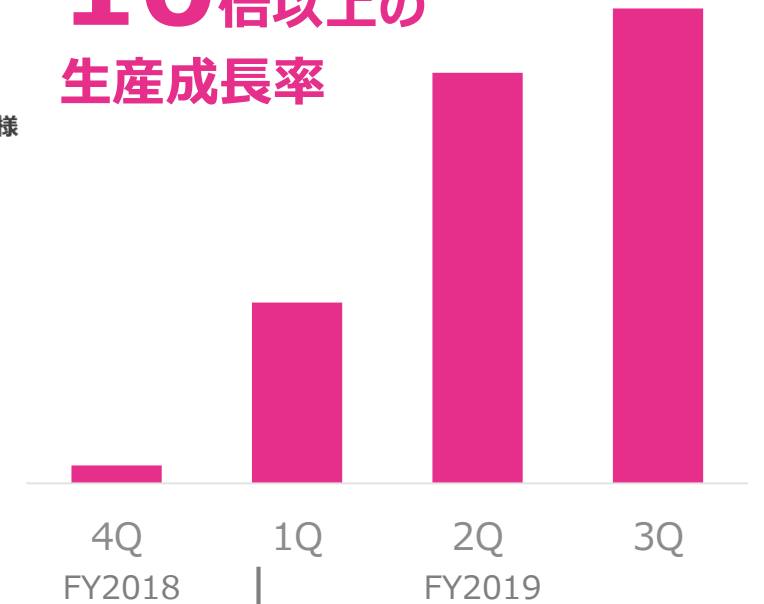
1本あたり**1**万円未満

※**無料お試しプラン**ご提供中



動画制作本数実績(全体累積)

10倍以上の
生産成長率



月間10万本制作を目標に、生産・品質管理の仕組み化に投資

RealPay

コンセプト

- ・現金より価値ある通貨を生み出す
- ・新しい稼ぎ方の報酬提供インフラとなる

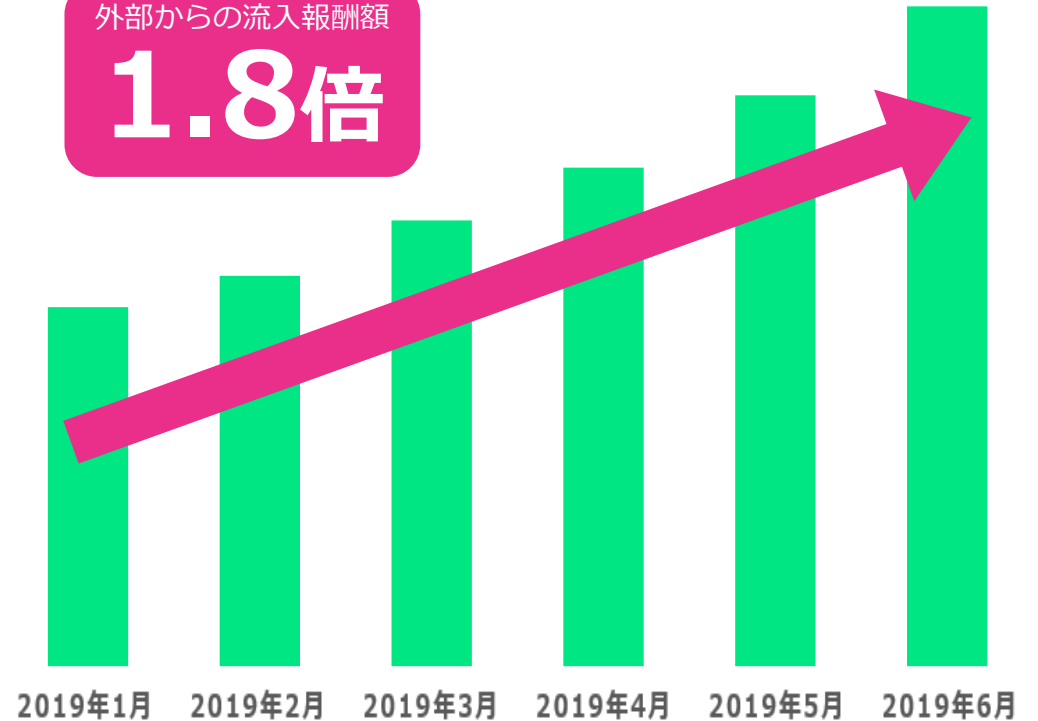
利用可能な交換先 現金をはじめ、ギフト券や各種サービスのアイテム等、200種類以上



リニューアル後の外部からの流入報酬額の推移

外部からの流入報酬額

1.8倍



多様化する新しい稼ぎ方の報酬支払インフラとして、流通総額最大化を目指す

04 Appendix

動画制作・供給・運用を行う「株式会社カチコ」の設立



- 会社名：株式会社カチコ
- 代表者：代表取締役社長 深澤智史
- 株主：株式会社リアルワールド
- 資本金：5,000万円
- 従業員数：21名（2019年7月1日時点）
- 事業内容：動画制作、デジタルサイネージメディア運営

動画制作事業

クラウドソーシングを利用し、
大量の動画を1,980円で
高品質15秒動画を提供

デジタルサイネージ・ インバウンド事業

小売り店舗などで商品紹介
などの販売促進用動画と
店舗設置用ディスプレイを
取り扱う

動画メディア事業

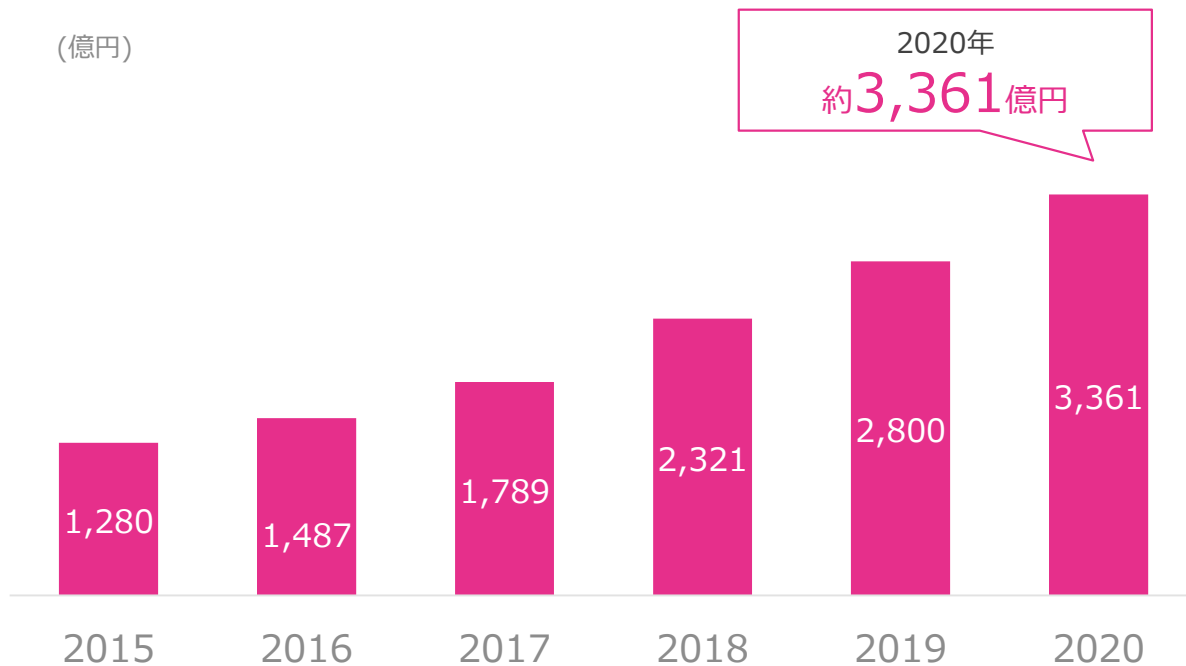
メディア運用ノウハウをもとに、
新たな動画メディアを
展開予定

成長市場である動画市場に特化した事業を設立

動画事業のマーケット環境

デジタルサイネージ市場

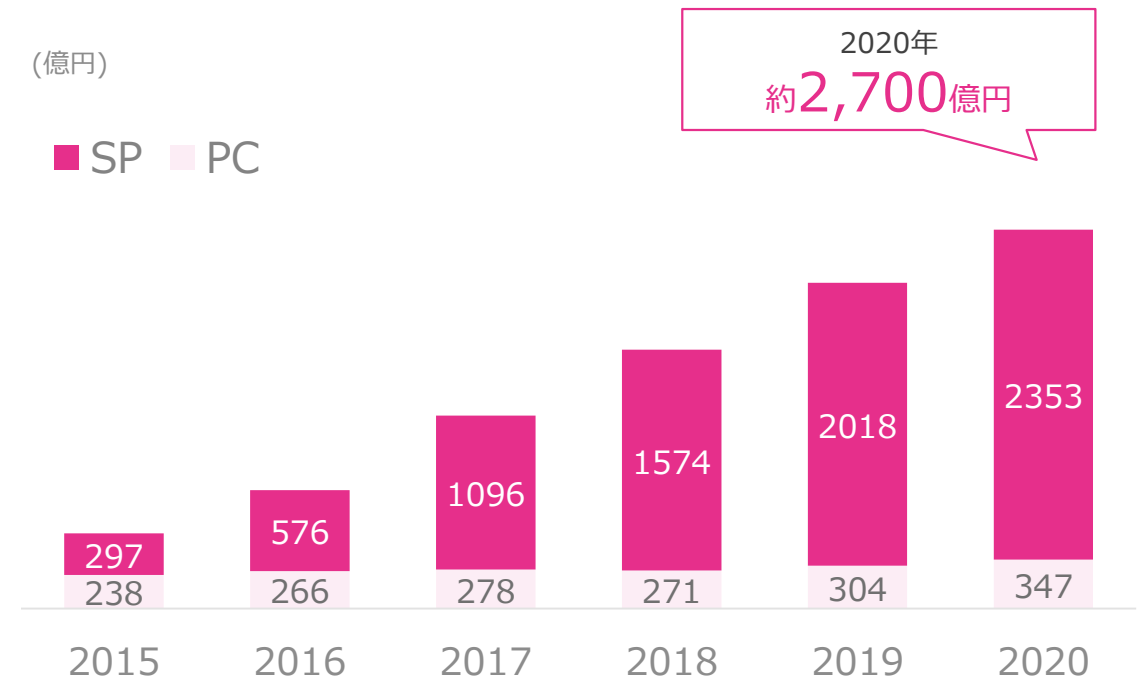
(億円)



出典：デジタルサイネージ市場に関する調査を実施（2017年）

動画広告市場

(億円)

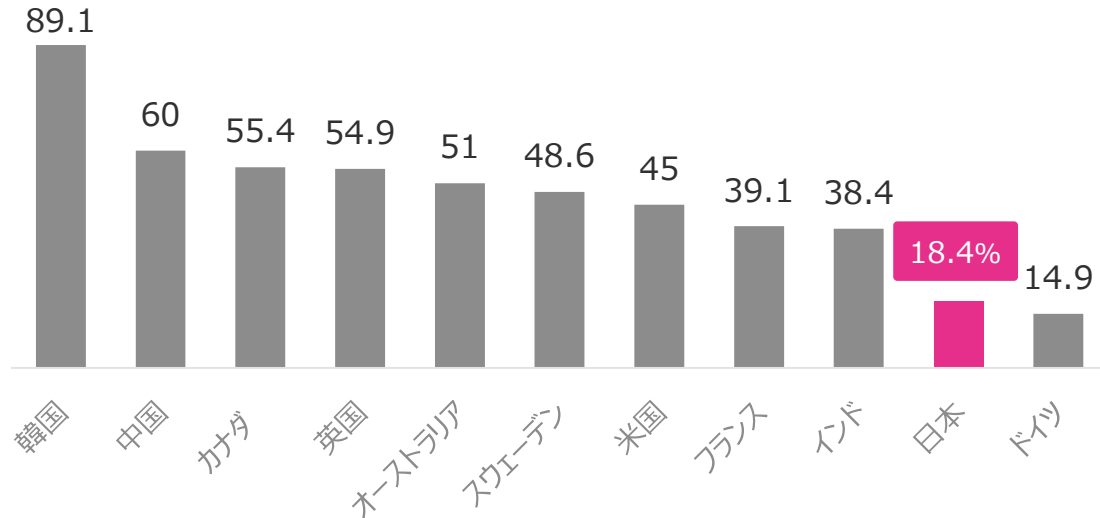


出典：サイバーエージェント、2017年国内動画広告の市場調査

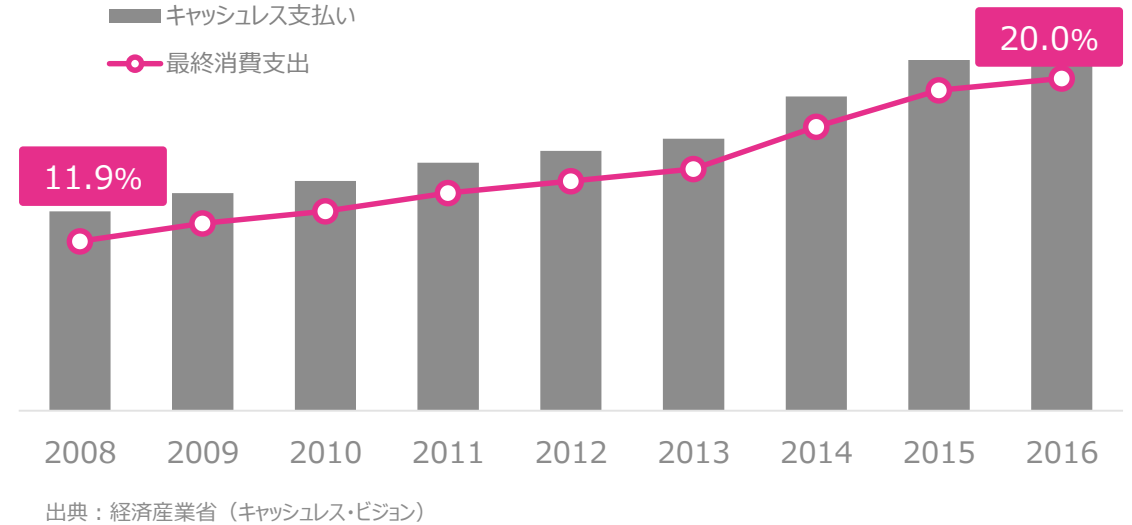
5Gにより通信高速化、市場規模約6,000億に挑む
約1,000万人のワーカーを活用した大量動画制作および動画メディア事業

キャッシュレスに向けた時代の変化

各国のキャッシュレス決済比率（2015年）



キャッシュレス支払い額と民間最終消費支出に占める割合



その他の直近の動き

インド高額2紙幣廃止1年、経済に打撃でも庶民の支持
(2017年11月)

消費増税時、2%分ポイント還元
(2018年10月)

QR決済の規格統一、年内にも行動指針 経産省
(2018年6月)

デジタルマネーで給与 厚労省、19年にも解禁
(2018年10月)



ネットがリアルを食ってはいけない。
ネットが人を孤独にしてはいけない。
ネットがコミュニケーションを断ち切ってはいけない。

人に役立つはずのネットが
人を消耗させてはいけない。

食べること、笑うこと、話すこと、
動くこと、お金を得ること。
人が生きていくためのライフラインになれないなら、
ネットなんて必要ない。

新しい時代の、
新しいリアリティを創っていこう。

それがリアルワールドの
自分たちへの、そして社会への責任。

ネットからリアルへ。

暮らすこと、働くこと、新しいこと

ネットを通じて社会の基盤をつくる

ネットからリアルへ。

REALWORLD



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。